

国土のモニタリングと本研究会の検討事項

1. 国土のモニタリングの意義と役割

(1) 国土審議会基本政策部会報告における提言

第5次の全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン」では、国土計画の理念の明確化、地方分権等の諸改革への対応、指針性の充実等により、21世紀に向けた新たな要請に応え得る国土計画体系の確立を目指すこととされている。

これを受けて、現在、国土審議会では、国土計画体系の見直しに関する審議が行われており、平成14年11月には、基本政策部会報告（以下「部会報告」）がとりまとめられている。この中では、国土計画の指針性の向上のために、国土計画のマネジメントサイクルの確立が必要であること、また、そのためにも、国土をめぐる諸情勢等を常時収集分析する国土のモニタリングが必要である旨の提言がなされている。

(基本政策部会報告における国土のモニタリングに関する記述)

第 部 国土計画体系の改革

1. 国土計画の改革のねらい

(3) 指針性の充実

国土計画の関係主体への指針性を向上するために、国土計画を目標管理型の制度とし、策定、推進、評価のプロセスを通じて、効率的、効果的な進行管理を行う「国土計画のマネジメントサイクル」の確立を目指す。

第 部 国土計画体系の改革

2. 国土計画のマネジメントサイクル

(4) 国土のモニタリング、情報の収集・分析と共有・公開

上記の計画評価等を遂行するために、国土をめぐる経済社会諸情勢、土地利用、自然環境状況、国土基盤ストックの状況、関連諸施策の推進状況、その効果等に関する情報を常時収集・分析し、その成果を、GIS等のIT技術をも活用し、国の各行政部局、地方公共団体はもとより、広く国民に公開・提供する。

(2) 国土のモニタリングの役割

1) 国土のモニタリングの概念

国土のモニタリングは、「国土計画のマネジメントサイクルの一環として、国土計画の策定や評価といったプロセスを円滑かつ効果的に遂行するために、必要な情報を恒常的に収集・分析する行為」といえる。

2) 国土のモニタリングの役割

国土のモニタリングには、

国土のあり様や情勢変化を把握し、これに基づき、現行計画で示した姿が実際にどうなっているか、あるいは、新たな計画課題は何か等の観点から分析を行い、計画の評価および推進や、新たな計画内容に反映させる。

国土計画の内容に関わるものを含め、国土の有り様や情勢変化等についての情報を、国民や関係機関と共有化することにより、国土計画の策定・評価・推進についての理解増進を図るとともに、様々な主体の計画参加等を支援する。

等の役割があるものと考えられる。

3) 国土計画のマネジメントサイクルとの関係

図 1 . 1 に、国土のモニタリングと国土計画のマネジメントサイクルの関係の概念図を示す。

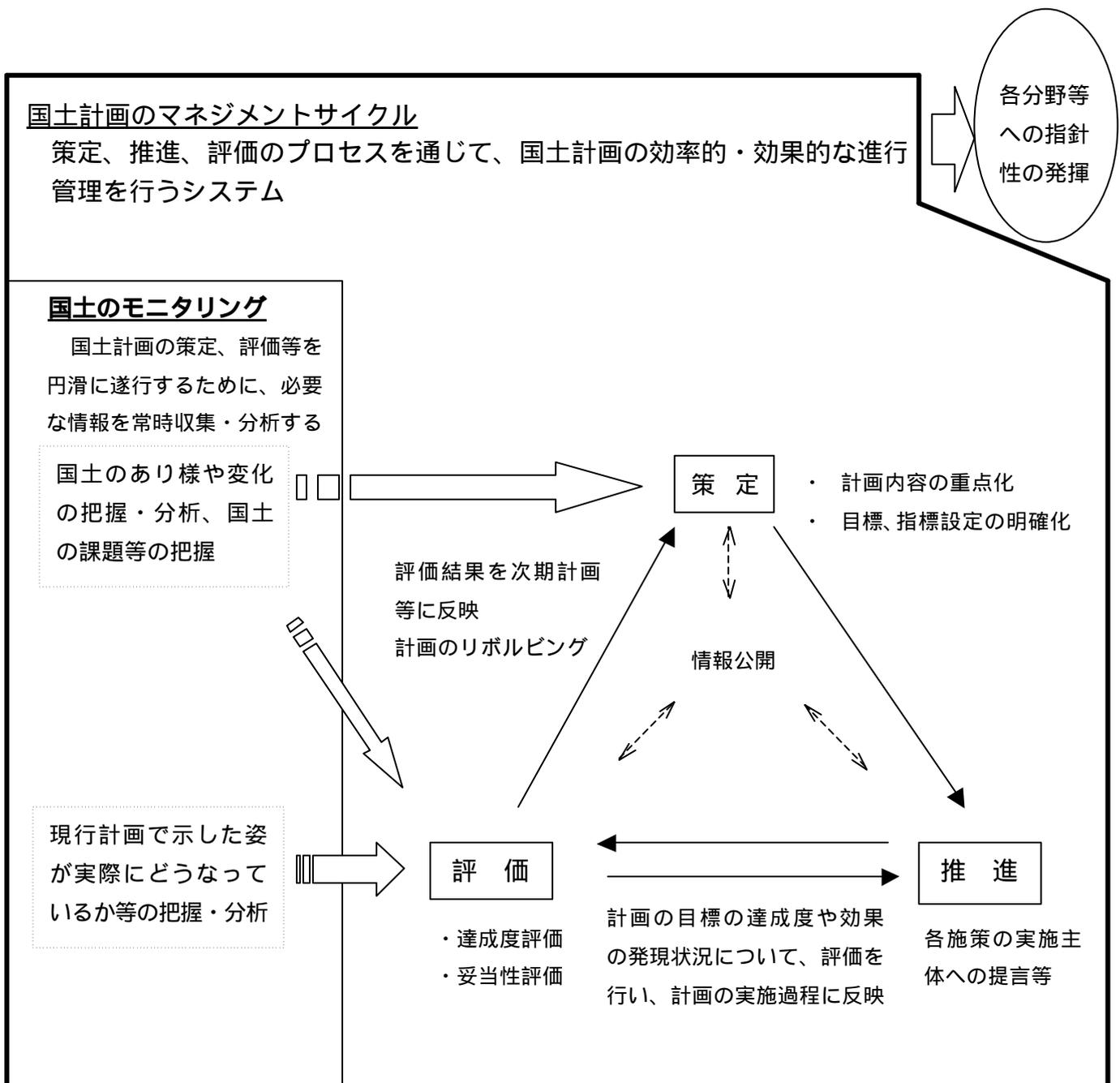
(3) 国土のモニタリングへの取り組み

部会報告で国土計画のマネジメントサイクルの確立を図るため提言された事項のうち、「目標の体系化とこれら目標の達成度を測る分野横断的な指標の導入」は、本格的には新計画策定時に行うものであり、「計画評価の実施」は、新計画で決定された指標に基づき行うものであるのに対し、国土のモニタリングは、今から実施可能な事項であると言える。

このため国土計画局において、国土のモニタリングへの取り組みが始まったところであり、現在から新たな国土計画の策定までの期間においては、現行全国総合開発計画（以下、「全総計画」）で示した姿の動向把握や新たな計画課題の把握等に向けた情報の収集・分析が中心になると考えられる。

図 1.1 :

国土計画のマネジメントサイクルと国土のモニタリングの関係



2 . 国土のモニタリング実施に向けた基本的課題

国土のモニタリングを実施していくにあたっての基本的な課題として、以下の事項を意識した。

今後、新たな計画策定までの期間に実施すべきモニタリング項目は何か。常に把握しておくべき基礎的な情報項目から、新たな計画策定に示唆を与える計画課題等の把握のための項目まで、国土のモニタリング計画の全体像を明らかにしていく必要がある。

このうち、最初から取り組むモニタリング項目・視点毎に、指標抽出を行った上で実際に情報収集と分析を行い、指標の有意性を確認するとともに、国土計画につながる課題を把握する事例を積み重ね、国土のモニタリング全体への道筋をつける必要がある。

国土に関する指標を収集・分析し、公開提供するシステムの構築を目指すにあたり、利用者にとってわかりやすく、使いやすいものにし、これを継続していくために、配慮すべき事項等を把握・検討しておく必要がある。

3 . 本研究会の検討事項

このような基本的課題に対応するため、本研究会では、以下の事項について検討を行った。

(1) 国土のモニタリング計画の検討

今後、恒常的に国土のモニタリングを行っていくにあたり、常に把握しておくべき基礎的な情報項目から、次期計画に向けての計画課題把握等に関わるものまで、モニターしていくべき事項や、その際のモニタリングの視点、用いるべき指標等について検討した。

(2) モニタリングの実施と分析

本研究会で実際に実施するモニタリング項目等の検討

今後モニタリングしていく項目のうち、その重要性を踏まえ本研究会で分析等を行う項目、視点の抽出を行った。

指標データの作成と分析

で抽出された項目について、実際に指標データの作成および分析を行った。

また、分析結果に基づいて、モニタリングの視点や指標の有意性の確認を行い、1.のモニタリング計画に反映させる。

計画推進や新たな計画策定への示唆

分析結果を踏まえ、現行計画の推進や新たな計画策定に対して反映すべき事項について検討した。

(3) 国土のモニタリング提供システムのあり方の検討

利用者にとってわかりやすい表示・図化方法、使いやすいデータ提供システム等基本的に配慮すべき提供システムのあり方について検討した。

なお、本研究会は平成14年7月から約1年にわたり開催された。そのスケジュールと検討項目を図1.2に示す。

図 1.2 : 研究会の検討スケジュール

	第1回 (H14.7.9)	第2回 (H14.9.3)	第3回 (H14.11.11)	第4回 (H15.1.24)	第5回 (H15.3.26)	第6回 (H15.6.12)
国土のモニタリング 計画の検討	(今後、国土のモニタリングを行っていくにあたって、実施すべき事項、視点、用いるべき指標の検討)					
モニタリングの実施 と分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <第2回> 人口・機能の集中・分散の動向 地域の活力の動向 圏域形成の動向 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <第3回> 国際交流の動向 国土基盤形成の動向 都市整備の動向 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <第4回> 恵み豊かな自然の 享受と継承 土地利用の動向 国土の安全・防災 の動向 等 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <第5回> ライフスタイルの動向 地域連携軸の展開の動向 人口・機能の集中・分散の 動向(追加) 圏域形成の動向(追加) 国土基盤形成の動向等(追 加) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <第6回> アジア経済と我が 国の地域経済の動 向 多自然居住地域形 成の動向 等 </div>
	(モニタリングの具体的実施例を通じて、モニタリングの視点や指標の有意性の確認、分析結果を通じた新たな計画に反映すべき事項に関する考察)					
国土のモニタリング データ提供システム のあり方の検討				分かりやすく使いやすい提供システムのあり方の検討		
					研究会報告とりまとめ	